メッセージありがとう

山本太郎さん（俳優）

緑の党が出来るということは、何か、変化が起きるんじゃないかという予感がしますよね。即時廃炉に決まっているじゃないですか、原発なんて。それ以外に選択肢なんてあるわけないですよ。もうあまりにも利権構造が大き過ぎて、絶望的にもなりそうなんですけど、一筋の光があるんですよね。選挙でどれくらい周りの人たちの目を開かせられるかが勝負の鍵。緑の党が、光の中心になるんじゃないかと、僕は思います。むちゃくちゃ応援しています。

中沢新一さん（グリーンアクティブ代表）

19世紀から20世紀に出現した赤い勢力が、内部から変色を起こし、あるいは解体して緑に変わっていくという時代に突入し始めている。これは、世界的な大きな流れです。日本人がこの1年間体験してきたことは、おそらく世界、人類にとっても大変稀有なものです。この体験をもとに、深い認識と思想を持って世界を変えていく運動を始めていかなければなりません。緑の党の結党は大きな一歩だと思います。私は心から歓迎しています。

上原公子さん（元国立市長）

お誕生日、おめでとうございます。私ずっと20年待ってたんです、この日を。去年のあの悲しい出来事があって、ここでという思いで今日を迎えたんだと思います。今の政治の建て直しはどこに希望を持ったらいいのか、迷っている人がたくさんいます。その受け皿がなんとしても必要。ただ党を結成するだけじゃあだめ。決める側に立つ、そのために選挙に勝つ。そのことが緑の党の大きな目標だと思います。本当に心から嬉しいです。

鎌仲ひとみさん（映像作家）

緑の党がついに「おぎゃあ」と生まれたわけで、おめでとうございます。心待ちにしておりました。緑の党のもつ意味の一つは、新しい選択肢を提示し、日本の政治に多様性をもたらすことです。地域で若者たちが、今、新しい取り組みを本当に試行錯誤しながら始めようとしています。3･11で政治が自分たちの暮らしにどんなに深く関わっているのかということをありありと気づいた人たちともつながって、日本を変えていきましょう。

吉岡達也さん（ピースボート共同代表）

緑の党の発足というのは、本当に世界を変える一つの重要な出来事だと思いますし、その当事者が私たちだと思います。これから、キックオフですよね。この緑の党をもっと大きくしていって、世界の緑の党とつながって、貧困も、そして原発も戦争もない世界を、持続可能な世界を一緒につくりましょう。

※編集部の責任で要約させていただきました。全文はHP。

緑の党 Greens Japan
〒166-0003 杉並区高円寺南4-7-1
藤和シティコープ春木屋ビル202
TEL 03-6454-6068
FAX 03-3318-6063
E-Mail greens@greens.gr.jp
http://greens.gr.jp

カンパ募集中　**2013年 参議院選挙挑戦!**

郵便口座　ゆうちょ銀行　口座番号:00100-9-262967　名称:みどりの未来
他金融機関からの振り込みの場合　当座預金（店番号019）　口座番号:262967

ドキュメント7.29 キックオフイベント!

ビデオメッセージ

加藤登紀子さん（歌手）をはじめ、いしだ壱成さん（俳優）、辻信一さん（環境運動家）、雨宮処凛さん（作家）、三井マリ子さん（女性政策研究家）、田中優さん（未来バンク事業組合理事長）、高野孟さん（ジャーナリスト）、松本哉さん（素人の乱）、湯川れい子さん（音楽評論家）、岩井俊二さん（映画監督）ら18人から寄せられた。

① 開会前から賑わう受付　② 「緑の党」お披露目　③ 懇談するヘーンさんと中沢新一さん　④ Yae& 真砂秀朗　⑤ かんしょ踊り　⑥ キッズコーナー
⑦ さあ！ 国会大包囲へ　⑧ 国会前で「原発いらない！」

世界の緑とともに

ベアベル・ヘーンさん

ドイツ緑の党　連邦議会議員　会派副代表

ドイツで緑の党がつくられたのは約30年前、硬直した社会を市民サイドから、下から変えていきたい、そういう気持ちで始まりました。いま、日本においても、国民のための政治が行われていない、既成政党が、将来への回答をだせない、そして基本的な信頼を失っています。ですから、新しい政党、緑の党が求められています。

かつて、アメリカ大陸において、白人がネイティブを滅ぼしていったとき、ある酋長が残した言葉があります。「最後の川が毒され、最後の木が切り尽くされ、魚が取り尽くされたとき、おまえたちは気づくだろう。カネは食べられない、いのちのもとにはならないことに」、このことを私たちは肝に銘じなければいけません。

求められているのは、持続的ないのちを守る政治、緑の政治です。日本を、みなさんが変えていくこと、心からお祈りしたい。

スコット・ラドラムさん

オーストラリア緑の党　連邦議会上院議員

去年、オーストラリアの国会で福島第一の原子炉のすべてにオーストラリアからのウランが入っていることが確認されました。オーストラリア人として、とても申し訳なく思います。オーストラリアの我々の役割は、ウランの採掘を止めること。日本のみなさんは、日本の原発を止めることが大きな課題です。もし、両国の緑の党が協力して動けば、非常に大きなインパクトとなります。緑の党がこれから力強いものになれば、日本だけではなく全世界にも非常に大きな影響があると信じています。

シナン・マヴィヴォさん

台湾緑の党

「ランユウトウ」という小さな島から来ました。いま台湾で稼働している6基の原発の低レベル放射性物質は、この小さな島に置かれています。ですから私は放射性物質と30年一緒に生きてきました。昨年、3.11が起きて、母親でもある私は、非常に心が痛かったです。自分たちの島では、デモで原子力の危険性を訴えてきました。我々の民族は原子力を悪霊と呼んでいます。私たちは、放射能に怯え続け、心を痛めてきました。今回の会議で得た情報を島に持ち帰って、村人とシェアし、新しいことをやっていこうと思います。アリガトウ。

スレッシュ・ナウタヤルさん

インド緑の党　アジア太平洋緑のネットワーク（APGN）運営委員

緑の党では、平等、貧困といった問題を取り扱うということがとても大切だと思います。世界中の緑の党と一緒に変革を起こしていくことを願っております。そして、是非女性の方々にもっと多くこの運動に関わっていただければと願っております。日本の緑の党は、未来のための党です。日本の緑の党が成長していくことが出来れば、アジア各国で準備や努力をしている緑の党にも非常に大きな影響があると思います。

ソ・ヒョンウォンさん

韓国緑の党、グワチェン市議会議長

韓国でも、3.11後に、もう待つことはできないんだと、緑の党を作りました。東北アジアにおいて我々は同じ船に乗っていると強く思います。この狭い地域にこれだけ多くの原発がある地域は世界のどこを見てありません。東北アジアの未来のためにも私たちは協力し、核の時代から脱することを共に実現していかなければなりません。今日というこの日は出発点になると思います。おめでとうございます。

発行：緑の党 Greens Japan　デザイン・イラスト：TR. デザインルーム タナカリカコ　印刷：株式会社野毛印刷社　この印刷物は、有害な廃液を出さない水なし印刷方式で印刷され、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

2012年 8月30日　vol.01

緑でいこう GO GREEN

緑の党 Greens Japan

緑の党は、グローバルグリーンズ憲章の６つの政治理念
①エコロジカルな知恵 ②社会的公正・正義 ③参加民主主義
④非暴力・平和 ⑤持続可能性 ⑥多様性の尊重、に基づき、
「緑の社会ビジョン」の実現をめざします。国政に緑の議席を！

写真：結成されたばかりの緑の党。脱原発の国会前行動に参加。

緑の党ついに誕生。

3.11 後の今ここに新たな道を歩みだす

2012.7/28 結成総会

日本にも、ついに緑の党が誕生した。結成総会は7月28日、東京都内で開催された。参加者は約300名。名称は会員投票で「緑の党 Greens Japan」に決まった。

総会では「緑の社会ビジョン」「規約」「参議院選挙要綱」「活動方針」を議論、その結果、一部の修正も含め、すべての議案が賛成多数で採択された。また、共同代表にすぐろ奈緒、長谷川羽衣子、高坂勝、中山均、全国協議委員は規約に基づき半数は女性で34名を選出した。「結成宣言」「希望の福島　緊急提言」を拍手で確認した。

結成総会には、ドイツ、オーストラリア、台湾、韓国の緑の党がかけつけ、挨拶をいただいた。ドイツのテレビ局、国内のテレビ局をはじめ多くのマスコミ関係も取材に訪れ、注目度の高さを示した。ユーストリームでも配信された。

緑は賛成　赤は反対　白は棄権

熱気ある討論が続く

４人の共同代表を選出

緑の党 結成宣言 2012.7.28

3・11 後の 今 ここに
新たな道を歩み出す

森を奪う都市文明から
森に寄り添う文明 数多(あまた)へ
答えを生きる 時がきた

果てない世界市場化と
経済成長呪縛から
世界各地が共に奏でる
色どる経済成熟へ
答えを生きる 時がきた

いのち汚す原発と
奪い合いの地下資源より
太陽による 永遠の平和へ
答えを生きる 時がきた

はやさ 大きさ 効率主義 から
スロー スモール シンプル で
適正規模と多様性へ
答えを生きる 時がきた

過剰なほどに カネ追わず
過剰なほどに モノ造らず
過剰なほどに 働かず
仕事と時間を 分かち合い
豊かなこころを 蘇らせる
答えを生きる 時がきた

買うしか術ない暮らしより
手 足 知恵で 創るを楽しみ
与え 支え いのちを謳歌し
自立しあう 安心へ
地域でつながる 循環へ
答えを生きる 時がきた

色んな人と 色んな生き方
互いに凸凹△ 認め合い
組み合わさって 補い合い
使命を宿し おのおの輝く
答えを生きる 時がきた

テレビの向こうに 決断任せず
自ら責任 引き寄せて
足元からの 微力をつらね
笑顔の未来 えらびとる
答えを生きる 時がきた

今日から土に 種を蒔き
こころに緑を 育てよう
いのちにぎわう 豊かな地球を
いのちみんなで 分かち楽しみ
１００年先を 見渡して
答えを生きる 一歩をここに
歩み出したい 一歩をここに

「緑の党」を 立ち上げる

公募と会員投票で名称決定、「緑の党」に！

結成報告の記者会見

左：海外メディアも注目。取材を受ける共同代表のすぐろ奈緒。
右：長谷川羽衣子。

緑の社会ビジョン

私たちは、石油と原子力に象徴されるエネルギー大量消費型の文明に、踊り、踊らされてきました。かけがえのない太陽と地球の贈り物によってこそ“いのち”が育ち、輝くことを忘れ去り、おカネで計れるものだけを尊ぶような勘違いを続けてきました。

その結果、豊かな森・川・大地・海は破壊され、自然は悲鳴をあげています。わずか「1%」の人びとが世界の富を独占し、残りを「99%」の人びとが奪い合うという歪んだ経済成長の仕組みによって、至るところで格差が広がりました。勝ち負けを問わず、人びとは不安と閉塞感のなかにいます。

そこに起きた“3.11”。

私たちは多くのものを失って、やっと気づきはじめました。経済成長神話こそが破滅への道であり、経済成長を優先する政治・行政・福祉・医療・教育などすべてのシステムが破たんしていることを。プロの政治家・官僚・専門家に重要な決定を預けてしまう「おまかせ民主主義」が、最悪の事態を招いていることを。

いま、私たちは、経済成長優先主義から抜け出し、“いのち”を重んじ自然と共生する循環型の経済を創りだします。「おまかせ民主主義」にサヨナラし、市民が自ら決定し行動する民主主義、討議し政治に参加する民主主義を実践します。そして、原発のない社会、エコロジカルで持続可能な、公正で平等な、多様性のある社会、平和な世界をめざします。

いのちと放射能は共存できない！ 〝地産・地消〟の再生エネルギーで暮らす

原発のない社会を実現します。放射能に汚染された大地や海を次世代に手渡すことはできません。すべての原発を直ちに廃炉にします。

同時に、石油に全面的に依存した暮らし方から脱け出します。「日本は資源のない国」ではありません。太陽・風・水・森林などの豊かで多様な自然資源を生かしたエネルギーを開発・普及させ、基本的に地域で〝地産・地消〟（自給）することをめざします。エネルギー消費量を思い切って減らしながら、再生可能な自然エネルギー100%の社会に転換します。

自然の循環と多様性のなかに暮らしを置きなおす

自然を征服と操作の対象としてきた近代の文明的枠組みからの大転換をめざします。

欲望を無限に膨らませ便利さを追い求めて限りある資源を大量に消費する暮らし方から脱け出します。クルマをはじめ温室効果ガスを大量に排出し気候変動を促進するモノの使用と生産を思い切って減らします。

自然征服型の事業は中止します。自然生態系の循環と生物多様性を保全し、これを生かした風景を取り戻す事業を進めます。

自然生態系と人間の健康に取り返しのつかない害を与える可能性のある科学技術は、「予防原則」に立って封印します。

競争とサヨナラし、スロー・スモール・シンプルで豊かに生きる

経済と暮らし方をスローダウンし、おカネ（GDP）だけでは計れない豊かさや富を手に入れます。弱肉強食の競争によって効率性だけを追求し利益を最大化する経済から、分かち合いと協力・連帯によって人間らしい生活を営める経済に転換します。

より少なく働き、より少なく消費し、より豊かに生きる社会に向かいます。労働時間を大幅に短縮し、仕事を分かち合って失業を減らすと同時に、自由に使える時間を飛躍的に増やします。働き方も変え、尊厳ある働き方と多様な働き方を実現します。

再生可能エネルギー、農業、介護・医療・教育の分野で仕事と投資を増やします。モノとサービスと資金が地域内で循環し、働く場が創られるローカルな経済が主役となります。「土はいのちの源」という原点に立つ農業を再生します。

国境を越えるマネーの膨脹と暴走を規制し、不安定さを増すグローバル経済によって暮らしが脅かされることを防ぎます。

格差と貧困をなくし、分かち合いを実現する

誰もが不安と孤立と貧困から脱け出し、自分の「居場所」を見つけられることが重要です。若者や社会的弱者に「自己責任」を押しつけず、政府や地方自治体による公的支援を拡充すると同時に、市民やコミュニティによる助け合いを活発にします。

すべての人に人間らしい生活を営める生存権を保障するために、ベーシックインカムの導入をめざします。誰もがいつでもどこでも安心して医療・子育て支援を受けられるようにします。子どもの教育や住まいなども公共サービスとして提供します。

公正な税制によって所得の再分配を行ない、格差をなくします。

性による差別・抑圧のない平等な社会へ

女性への差別をなくし女性が生きやすくなることは、その社会が誰にとっても自由で生きやすい社会に変わるためになくてはならない重要な一歩です。私たちは、性別役割分業から解放され、個人を単位とする社会を実現します。すべての人が性別にとらわれず、「自分らしく」生きられることをめざします。

子どもと未来を育む

未来の主人公である子どもたちは、どこで生まれて誰に育てられても、誕生・保育・教育・医療などの基本的な環境を保障されます。子どもは、血縁の家族だけではない「家庭」、保育所や学校、地域コミュニティのなかで育ちます。「子どもの権利条約」に謳われている「自分らしく生きる権利」「意見表明権」を実現します。

多様で違ったあり方を認め合う

社会は、多様な人々から成り立っています。多様性を認め合う社会こそ、活気と豊かな文化を生み出します。女性・障がい者・性的マイノリティ・外国籍住民・先住民への差別や排除をなくし、すべての人が伸びやかに生きられる社会を創ります。

多民族・多文化共生の「そのまま違っていられる社会」を実現するために、当事者が自分たちに関わる事柄の決定に参加できる権利と仕組みの確立が重要です。

熟議と当事者主権にもとづく参加民主主義を実現する

政治は代表を選ぶだけではありません。市民が自由に声を上げ、討議し、行動し、参加して決定する民主主義を実現します。

政治的決定は、できるかぎり人々の生活に近い場で行なわれます。分権を徹底し、住民自治と市民主権を実現します。

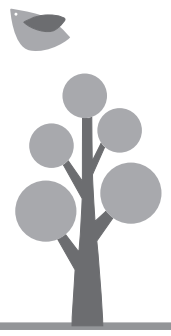
情報公開を徹底し、市民が行政を監視し、重要な事柄は住民投票や国民投票によって決定できるようにします。

平和と非暴力の北東アジアを創り、戦争や暴力、差別のない国際社会をめざす

貧困と抑圧、暴力や差別、武力紛争や戦争のない社会をめざします。

憲法9条の堅持を国際社会に明言し、武力紛争や人権蹂躙、貧困や差別などを予防・解決するための外交や施策を積極的に展開し、その国際的な枠組み作りを進め、市民、コミュニティ、国家間の信頼や友好関係を発展させます。特に北東アジアでは、地域の非核化をめざすとともに、エネルギーや資源の共同管理と環境保全、歴史認識に関する議論を通して信頼関係と相互理解を深め、市民の交流と協力を基礎にした地域共同体をめざします。

沖縄と日本本土の米軍基地をなくし、徹底的な軍縮を進め、関係各国との友好関係を築き、軍事同盟としての日米安保のすみやかな解消を図ります。



共同代表からみなさまへ

すぐろ奈緒（なお）

東京都　杉並区議会議員

日本において歴史的な分岐点に立つ今、緑の党が誕生し、共同代表として選出していただいたこと、その責任の重さに身が引き締まる思いです。緑の党の理念に賛同する一人一人のみなさんと、共に議論し、行動し、変化を起こしていくための一助になれたらと思います。いただいたお役目に微力ながら力を尽くしたいと思います。よろしくお願いいたします。

髙坂勝（こうさかまさる）

東京都　「減速して生きる ダウンシフターズ」著者

緑の党の共同代表に選出頂きました、髙坂 勝（こうさかまさる）です。代表と言いましても、最高決定の主は会員やサポーターのみなさんです。ともに考え、学び、行動し、既存の経済成長に頼らない、地域をベースにした幸せな社会を創造してゆきましょう。未熟なワタクシですが、新生「緑の党」を、ジンワリ、かつ、しぶとく、この国に根付かせるべく、自らの役割と責任を持ち、〝下から目線〟で臨んでゆきます。

長谷川羽衣子（はせがわういこ）

京都府　NGOe-みらい構想代表

昨年3月11日の福島第一原発事故を受けて、脱原発とエネルギー問題に取り組むNGOを設立し、地元である京都や関西、そして福井県おおい町で活動を行って来ました。その過程で日本にも「緑の党」が必要だと強く感じ、今年の1月から結成に参加させて頂きました。まさか共同代表に選ばれるとは思ってもみませんでしたが、私たちの理念と行動が、社会や国をより良い方向へ動かすと信じ、あきらめることなく前に向かって歩み続けたいと思います。どうか宜しくお願い致します。

中山均（なかやまひとし）

新潟県　新潟市議会議員

「緑の党 Greens Japan」結成にあたり、これまで緑の政治を目指して苦労と努力を重ねてこられた全ての皆様ー今この場を共有していない方々も含めてーにあらためて敬意と謝意を表します。私は共同代表の中で最年長ですが、これまで培った経験や知識とネットワークを活かし、がんばります。質素でも心豊かに暮らせる公正で平和な社会を目指し、ひとりでも多くの方々がともに歩んで下さることを望みます。

緊急発売

緑の党キックオフ！ 結成特集号

9月下旬発売予定　300円　A4　48P

内容
- 共同代表4名の座談会
- ドキュメント緑の党誕生
- 「結成宣言」
- 「緑の社会ビジョン」
- 世界から　国内から　応援メッセージ
- 緑の党 Q&A
- 国政に緑の議席を
- 福島から　武藤類子
- マスコミは緑の党誕生をいかに報じたか
- グローバルグリーンズ報告

福島からのメッセージ

私たちが汚してしまったこの星をどれだけ元に戻せるのか、私たちは本気で考えなければなりません。緑の党が大きな力を果たしてくれることを信じています。

武藤類子さん

みなさん、こんにちは。福島に住む武藤類子と申します。緑の党の結成、おめでとうございます。たくさんの人々がこの日を待ち望んでいたと思います。私の住んでいる阿武隈山系の里山は、今が一番美しい季節です。目に染み入るような緑の中から、溢れかえるいのちの息づかいが静かに聞こえてきます。でも、原発事故によってたくさんの放射能がその山々に降り注ぎました。汚染された大地が、森が、水が、そして田畑が元に戻るのには、いったいどれぐらいの時間がかかるのでしょうか。家を追われ、なりわいを失った人々の生活の再建への道は、まだまだ不透明です。

子どもたちは、いまだに低線量被ばく地帯に暮らすことを余儀なくされています。子どもたちの健康被害がとても心配されています。置き去りにされた動物たちは、次々と殺処分され続けています。地震や台風のたびに、福島原発が再び崩壊するのではないかという恐怖をみんなが持っています。人々は翻弄され、そして分断されています。しかし、一方で、止まっていた原発を再び稼働させることが決まりました。このような事故が起きたにもかかわらず、何も変わっていません。この国は何も変わらないのです。

この事故によって、日本の社会の中に潜んでいた様々な問題が表面に浮かび上がってきています。一人ひとりが大切にされず、誰かの犠牲のうえに成り立っている社会。いのちよりも経済が優先される社会。真実が隠され、正しい情報が伝わらない社会。そして人類は、核という途方もないものを手にしてしまいました。私たちは今、変わらなければならないと思います。一人ひとりの生き方も、暮らし方も、地域社会も、そして政治も大きく変わらなければいけないと思います。

私たちが汚してしまったこの星をどれだけ元に戻せるのか、私たちは本気で考えなければなりません。この地球という美しい星と調和した世界を作り出すために、緑の党が大きな力を果たしてくれることを信じています。

（キックオフイベントに寄せられました。）

希望の福島へ　4つの緊急提言

緑の党は、7月28日の結成総会において「希望の福島へ 4つの緊急提言」を採択、30日、福島県福島市で記者会見を行い、発表しました。この「緊急提言」には、3.11 原発事故によって、さまざまな苦しみを背負わされた福島の人々が「希望を持って安心して暮せる福島を取り戻したい」という、人としてあたりまえのことを実現していくための基本原則が盛り込まれています。「福島の希望を語らずに日本の希望を語ることはできない」という強い思いから、緑の党のスタートにあたって発表しました。

※「希望の福島へ4つの緊急提言」の概要は以下の通りです。全文についてはHPを。

緊急提言1　責任を取る社会・政治へ

原発事故でかけがえのない故郷を根こそぎ奪われた福島県民の心痛を知ること

- ■福島原発告訴団の告訴・告発を支持します。
- ■原発を推進した政治家の責任は、選挙で落選させることを訴えます。
- ■「原子カムラ」と決別した原子力規制体制を要求します。

緊急提言2　原発ゼロへ即時廃炉を

フクシマの悲劇を二度と繰り返さないために

- ■再稼働を止め、少なくとも一年の熟議を行うべきです。
- ■原発ゼロの民意を前提に、選択肢に即時廃炉を入れるべきです。

緊急提言3　地域分散ネットワーク型エネルギーへ

再生可能エネルギーの促進と省エネで大量消費社会を見直す

- ■自然の循環の中で暮らすために、エネルギー循環消費社会への大転換と再生可能エネルギーの大胆な促進をめざします。
- ■地域分散型エネルギーである再生可能エネルギーの性質にあわせた、分散ネットワーク型エネルギー社会への転換をめざします。そのためには発送電分離が必要です。

緊急提言4　「避難の権利」と「留まる権利」の保障を

「原発事故被災者支援法」による具体的施策を早急に実施すること

- ■年間被曝量が1ミリシーベルトを超える地域を「支援対象地域」とすること。
- ■当該地域に居住する者または居住した者に対する医療費・健康診断費用の無料化。
- ■廃炉・除染に従事する労働者を被爆から守ること。

2013.7 参議院選挙へ　緑の党を国会へ

2012 7.28　緑の党結成

2012 11月下旬　第1次公認決定
選挙公約（第1次案） Manifest

予備選挙で候補者を決める
- ●比例区と選挙区を合わせ10名の候補者の擁立が必要。
- ●候補者は女性を半数、地域、世代のバランスなどを配慮し決定する。
- ●また、候補者のその半分を全会員による予備選挙を行い、決定する。

2013 3月　第2次公認決定

2013 7月　参議院選挙挑戦

比例区　2〜3議席獲得
得票率2%突破で政党要件獲得

都道府県、市区町村に緑の党選挙実行委員会を

1億円　世界一高い供託金に負けないぞ！　**1億円カンパ**　8/9 現在　1080 万円

3,000人　「原発」と「おまかせ民主主義」にサヨナラ! 緑の党を国会へ　**賛同人大募集**　8/19現在　1,385名

衆議院 次期総選挙について

緑の党は結成総会において衆議院の年内解散を想定し、総選挙の準備に入ることを確認。東京比例ブロック（定数17名）で、4名の統一候補者を立て、脱原発大結集のネットワーク型選挙の実現をめざすことを決めた。